

平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

地域子育て支援拠点の質的向上と発展に資する実践と多機能化に関する調査研究

<実施主体名>

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会

<調査研究報告書の概要>

地域子育て支援拠点の質的向上と発展の方向性を考察するために、以下の2つの調査を行った。

- 地域子育て支援拠点の実践に関する定量調査と質的向上を図る実践事例の収集
- 多機能を有する地域子育て支援拠点の取組が利用者にもたらす効果及び包括的な子育て支援事業の展開に果たす役割等に関する調査

前者では全国1,210カ所の地域子育て支援拠点に1次・2次調査を実施、分析し、実践事例を取集し、後者では多機能を有する15拠点の従事者へのヒアリングとその利用者へのアンケート調査で、拠点が包括的な支援機能を担う可能性と役割について定性的に分析した。

その結果、地域子育て拠点は、基本四事業の質的向上に7割以上が取り組んでおり、利用する親子を起点に支援の質の向上と多様化が捉えられたことから、質的向上の要因や実践事例を実施主体や事業者間で共有し、事業運営に反映させることが、今後の支援の質的向上に有効である。

また、多機能を有する地域子育て支援拠点では、併設されたサービスとの間で捉えられた出口・入口・モニタリング効果が、利用者にも有効に作用しており、サービスを併用利用する手厚い支援が必要な保護者にはさらにその支援効果は高く、包括的な支援に力を発揮している様子が詳細に捉えられた。

地域子育て支援拠点の多くが利用者に寄り添いながら質の向上に取り組んでいることから、本調査で捉えられた具体的な知見を、事業に取り組む関係者に、研究や情報提供を通じて、広く周知・共有することが支援の質の向上につながると考えられる。